

特記仕様書

備品購入のための仕様書のほか、次の項目を遵守すること。

- ① 小児麻酔、心臓血管外科麻酔、ロボット手術麻酔に対応できること。
- ② 換気モードは、乳幼児から成人まで対応できること。
- ③ 換気モードには、圧を補正しながら換気量を維持できるモードを有すること。
- ④ 人工心肺が稼働した時に、対応できる設定があること。
- ⑤ 気化器は、セボフルレンを搭載していること。
- ⑥ 当院の壁側の麻酔ガス排除装置と接続でき、5m以上のホースを有すること。
- ⑦ 当院の麻酔記録システムと接続できるケーブルを準備すること。
- ⑧ 当院の麻酔記録システムに、麻酔器の測定項目データが自動取得されること。
- ⑨ 当院のベッドサイドモニター画面が操作しやすい位置にアームを準備し固定されること。
- ⑩ 当院のベッドサイドモニター本体を麻酔器本体に乗せることができること。
- ⑪ 当院の麻酔記録システムとベッドサイドモニターなどの電源を一つもしくは二つにまとめること。
- ⑫ 電源コードは、長さ5m以上あること。
- ⑬ 電源ケーブル、その他のLANケーブルなどは、きれいにまとめること。
- ⑭ 麻酔器移動時にキャスターは、ケーブル等を踏まないように工夫すること。
- ⑮ 低酸素防止機能を有すること。
- ⑯ 自動セルフテストもしくは始業点検機能を有すること。
- ⑰ 停電時に、30分以上の駆動が可能であること。
- ⑱ バックアップ用の500リットル酸素ポンペを搭載し、ヨーク式であること。
- ⑲ 酸素、空気、N₂圧観は5m以上で、ピン方式であること、
- ⑳ 1年間はメーカーサポートを行い、24時間以内の対応をとること。
- ㉑ 2年目以降は、保守点検契約により安全使用できるようにサポートすること。
- ㉒ 導入時は、麻酔科医、看護師、臨床工学技士へのサポートを行うこと。